

高等教育ハンドブックシリーズ第④集

●発行 2006年12月20日
●体裁 B5判 254頁

大学教育の エクセレンスとガバナンス

～絹川学長の教学経営ハンドブック～

著 絹川正吉

国際基督教大学（ICU）前学長
文科省「特色GP」実施委員会委員長



□日本の高等教育の最前線で、教員・学部長・学長の職務と使命を“誠実”かつ“ラディカル”に、全うされてきた絹川“学長”が大いに語る。

□ICU、大学教育（一般教育）学会、内外のGP事例の“実践”と“思索”のエッセンスをスライド242カットで掲載。

□「絹川塾0期生」との10時間にわたる講義・質疑・討論の“絹川節”が贈る、大学教育の明日への“元気”と“処方箋”

□この間の国公立大学の独法化、認証評価・株式会社立大学の制度化は、政府・文科省の主導である。今、大学人の覚醒・自律力による“大学的なるもの”の復権が急務である。

◆大学教育のエクセレンスとは

- ・ユニバーサル化した学生・教員の現実を直視
- ・知識基盤社会の矛盾構造の克服
- ・バラバラな学生それぞれに意味のあること
- ・カリキュラム改革から授業の組織的改革へ
- ・特色GPにみるプログラムと共同的取組の進化
- ・日本のリベラルアーツの模索と実践……等

◆大学教育のガバナンスとは

- ・教養教員（テニユア）と研究教員（任期付）の種別化
- ・教養教員の処遇は高く～研究は好きですこと
- ・教養教員の優秀性～“作品化能力”（本質直感を伝える力）
- ・教員評価の基本～自己評価と同僚評価の資料化
- ・教授会は原理的に大学改革できない～その再定義
- ・理事会の機能・使命～学長の選任・解任と財務
- ・理事長・学長・監事をいかに機能させるか
- ・学長機能はアンビバレント～学長無権限の意味……等

お申込み・お問合せ先



地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL (03) 3234-1231 FAX (03) 3234-4993
E-mail kkj@chiikikagaku-k.co.jp

URL <http://www.chiikikagaku-k.co.jp>

……………キリトリ線(※申込みの折は必ずお送りください)……………

申 込 書

年 月 日

ハンド④集	大学教育のエクセレンスとガバナンス	定価	3,500円（消費税、送料込）	冊
-------	-------------------	----	-----------------	---

大学・官公庁
団体・企業名

★郵送またはFAXにてお申し込みください。（送料は当会負担）

★書店を通して購入される場合は、この案内書を書店へお持ちください。

（取次・東京官書普及）

所在地 〒

申込部課名

申込連絡者名

TEL

FAX

E-mail

必要書類 [納品書 () 請求書 () 見積書 ()]

所定用紙 (同封ください)

ISBN 4-925069-31-4

大学教育の エクセレンスとガバナンス

～絹川学長の教学経営ハンドブック～

I. 大学教育のエクセレンス

～知識基盤社会の要求 VS ユニバーサル化～

1. 課題の認識～知識基盤社会の矛盾構造

(1) 「知識基盤社会の要求」 VS 「ユニバーサル化」

- 1) 21世紀とは
- 2) 大学への期待～社会構造の中核としての大学

(2) ユニバーサル化の現実

- 1) 大学のユニバーサル化
- 2) 大学の危機
- 3) 現代の学生像
- 4) とりあえず教員は何をしたらよいか
- 5) 教養教育の失敗

2. 大学教育のエクセレンス～矛盾する両相の克服

(1) 大学論としての Care & Cure

- 1) Care & Cure の新しい意味づけ
- 2) 「学びのドーナッツ」

(2) 学士課程教育の前提～リベラルアーツ

- 1) 全ての大学に同じことを期待できるか
- 2) 現実の学生に対応すべし

II. 学士課程教育のコンセプトと質的保証 ～日本のリベラルアーツの模索と実践～

1. 学士課程教育のコンセプト

(1) 中教審答申における学士課程の取扱い

- 1) 中教審『将来像答申』
- 2) 大学の機能分化・種別化と社会の認識
- 3) 『将来像答申』の大学教育像
- 4) 教育像実現の学士課程
- 5) 教養教育
- 6) 教養教員の力量
- 7) 教員組織の編成

(2) 「学士課程」のモデルはリベラルアーツ・カレッジ

- 1) リベラルアーツ・カレッジの目的
- 2) リベラルアーツ教育のガイドライン
- 3) 初年次の Writing～基礎訓練として
- 4) 外国語履修要件
- 5) 社会正義学習 (Social Justice requirement)
- 6) Departments
- 7) リベラルアーツ教育のコア
- 8) 自己教育が前提
- 9) リベラルアーツ大学基準

(3) 「学士課程」の困難

- 1) 「学士課程」発想の経緯
- 2) 自己教育

(4) 学士課程教育は日本のリベラルアーツの模索

- 1) 学士課程教育の思想
- 2) 学士課程教育のモデルはリベラルアーツ

(5) 「学部」の自由化」に向けて

- 1) これからの教養教育とキャリア教育
- 2) ユニバーサル化大学の教育課程
- 3) ユニバーサル化時代の大学教育
- 4) 学部の自由化

2. 学士課程教育の実践

(1) 初年次教育

- 1) 目的～学力差の補正のみではない
- 2) 『一年次（導入）教育の日米比較』
- 3) 初年次教育のプランニング
- 4) 初年次教育の真髄
- 5) 補正教育の位置付け
- 6) 日本の大学もリテンションを問うようになる
- 7) 経営問題としての初年次教育
- 8) 特色GPの事例にみる初年次教育の実践例

(2) これからの学部教育

- 1) いま必要な教育改革は先祖がえり
- 2) これからの学部教育

(3) 専門教育の見直し

- 1) 専門教育 (21世紀答申)
- 2) 専門教育の見直し
- 3) ゼロ免課程とその拡大
- 4) 課題解決型実践教育は有効か

(4) 特色GPにみるカリキュラム改革

- 1) 理工カリキュラムのリベラル化
- 2) 工科大学における多様化対応
- 3) 知識の積み上げか、知識の構造化か

(5) 学士課程教育の評価の視点と質保証

- 1) 大学教育の質の維持は共同的取組み
- 2) 授業法の工夫
- 3) 大学教育の質評価
- 4) エクセレンスの評価視点

Q & A

III. 大学教育のガバナンス

～教員評価・人事の基本と学長の本質機能～

1. 大学教員評価の視点

(1) 学士課程教育と教員の能力

- 1) 「高等教育の将来像」
- 2) 学士課程(中教審答申に見る)の限界
- 3) 問われる大学教員の能力～大学教員像
- 4) 学士課程の教員の存在条件

(2) 教員評価の視点

- 1) 各大学が教員資格を明確化
- 2) 私立大学教員倫理綱領
- 3) 私大連「教員評価委員会」
- 4) 教育評価を核とする大学教員評価の提唱
- 5) システム改革よりは大学教員評価
- 6) 大学設置基準による教員資格
- 7) 大学教員の意識

(3) 教育と研究の同質性

- 1) 学士課程教員の評価：学識の評価
- 2) Stay in Touch with～専門領域の最先端に接触を保つ～

(4) 大学教員の優秀性 (エクセレンス)

- 1) 統合の学識の業績
- 2) 学問・概念装置～専門語群による体系

(5) 大学教員の教育評価

- 1) 教員評価の基本原則
- 2) 教育評価の方策
- 3) 教員評価資料～自己評価と同僚評価
- 4) Peer Review～同僚による教育評価
- 5) 評価に対応する報償
- 6) 大学教員任期制

2. 大学教育のガバナンス

(1) 問題提起

- 1) 問題のはじまり
- 2) 国立大学と私立大学の“理事会”機能
- 3) 教員の教育評価への責任主体
- 4) 基本視点：大学の相対化
- 5) 基本視点：経営事項としての教員配置計画

(2) 学長・学部長の機能

- 1) 学長の機能
- 2) 学部長の機能
- 3) 理事会は教学不介入

(3) 理事会の機能

- 1) 理事会の機能：学長の選任と解任
- 2) 大学業務の監査～監事機能の強化

(4) 大学のガバナンスと理事会の使命

- 1) 理事会の権限と教授会の審議権
- 2) ガバナンスの構造
- 3) 理事会の責任

(5) 大学経営と教授会の使命

- 1) 教授会の再定義
- 2) 大学の質の担保
- 3) 教授会再定義の前提
- 4) 教育能力審査を学長に課す
- 5) 大学の設置理念に基づく教員任用
- 6) 大嘗祭のエピソード
- 7) 教授会再定義の可能性
- 8) 教員人事に関わる教授会の権限
- 9) 教授会の本質 (体質)

(6) 経営と運営のアンビバレント：民主的運営

- 1) 学長独裁＝非民主的か？
- 2) コーポレート・ガバナンス (企業統治)
- 3) 大学運営のジレンマ

(7) 大学のガバナンスの特異性

- 1) 学長機能の二重構造
- 2) 学問は欠如態
- 3) 学長機能はアンビバレント
- 4) 学長の本質機能
- 5) 学長無権限の意味

(8) 教授会の機能～審議権とは

- 1) 教授会による大学教育の質保証
- 2) 大学設置基準の異例の本質規定
- 3) 学校教育法の教授会規定
- 4) 教育能力評価政策の実現
- 5) 教員評価に対応する報償
- 6) 教員任用は契約書の交換で
- 7) 教員との契約書の内容

(9) リーダーシップの基盤

3. 討論

参考資料

私立大学教員倫理綱領

一私立大学教員の義務と責任一